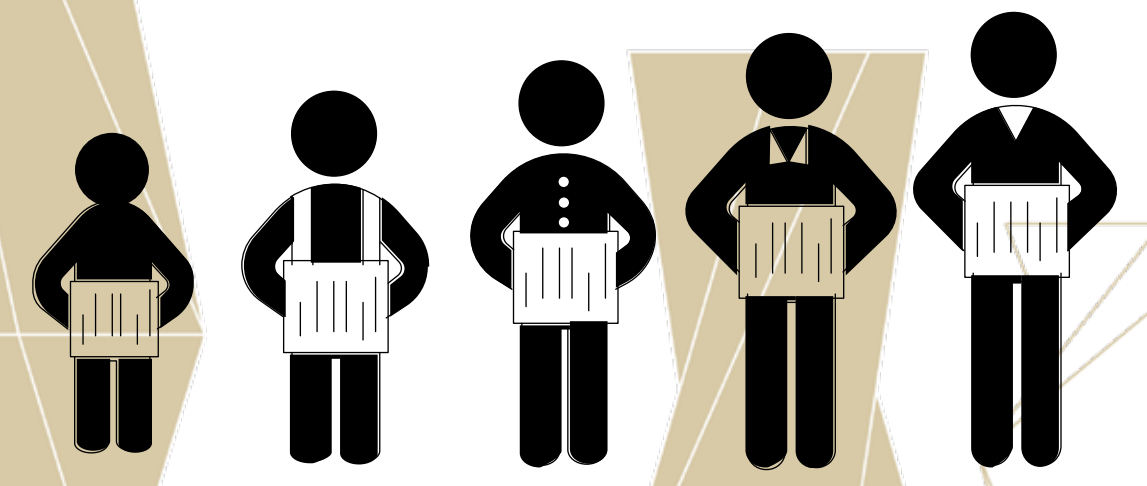


ミソツ

一折の重ね合わせで
魅せる卒業証書立ての制作—
梶本雅好研究室 制作
田中冴

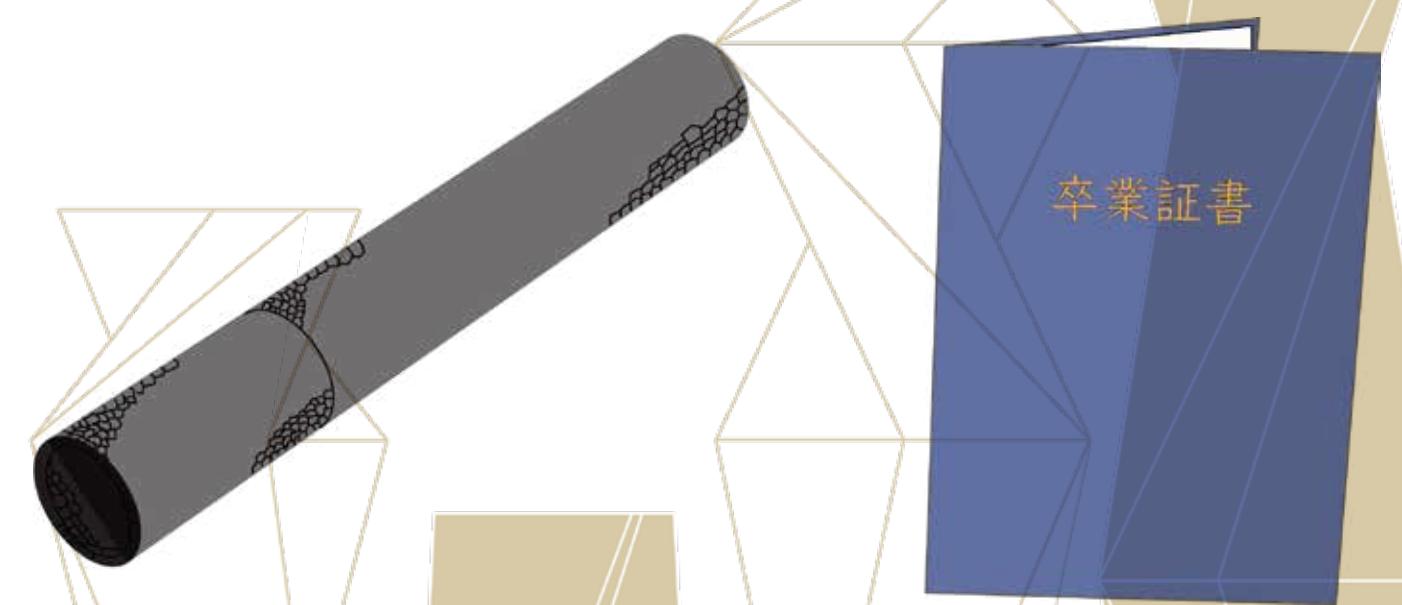
背景と目的



卒業証書は子供が成長するごとに渡される大切な記録だが、飾られていることが少ない。理由を探り、卒業証書に特化した証書立てを制作し、新たな魅せ方を示すことを目的とする。

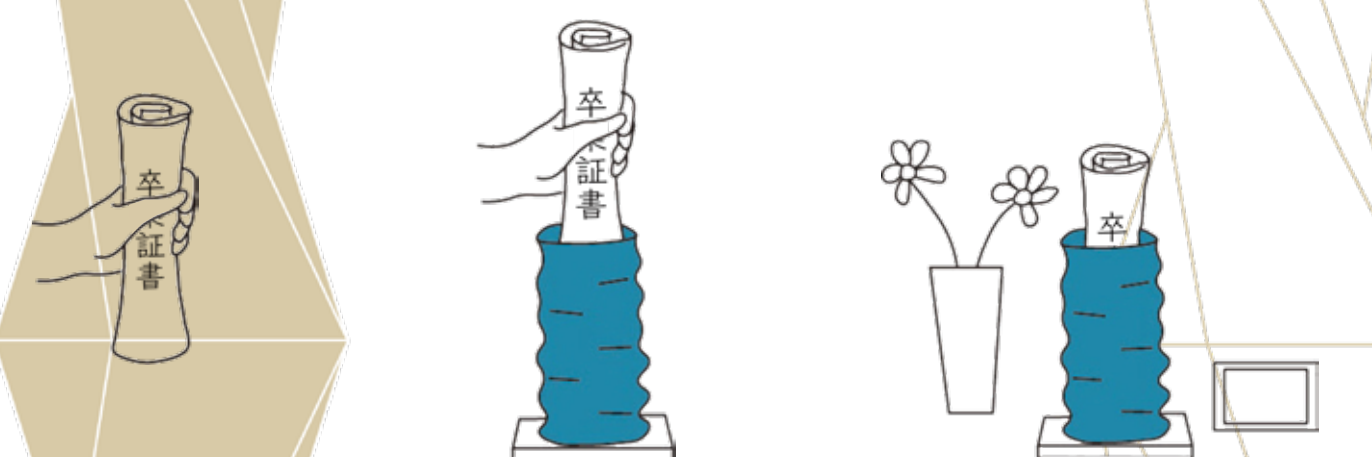
調査

「内容が人と同じで特別感がなく、賞状と比べて魅力がない」が最大の理由であった。

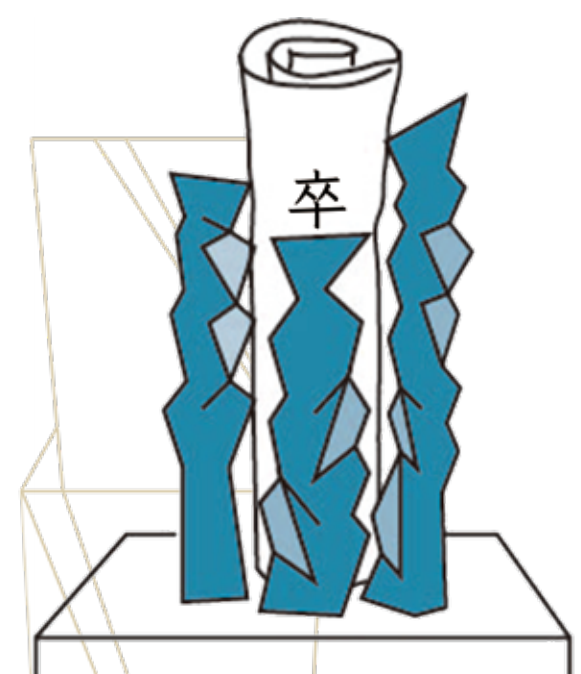


現在、この2種のタイプがある。ファイルタイプよりも飾られることが少ない筒タイプにスポットを当て制作をする。

構想



丸めて → 差し込み → 好きなところに飾る



内容は見せずに丸め、隙間から「卒業証書」の文字が見え隠れする飾り方を考案。



折のデザイン

丈夫

自由な
組み合わせ

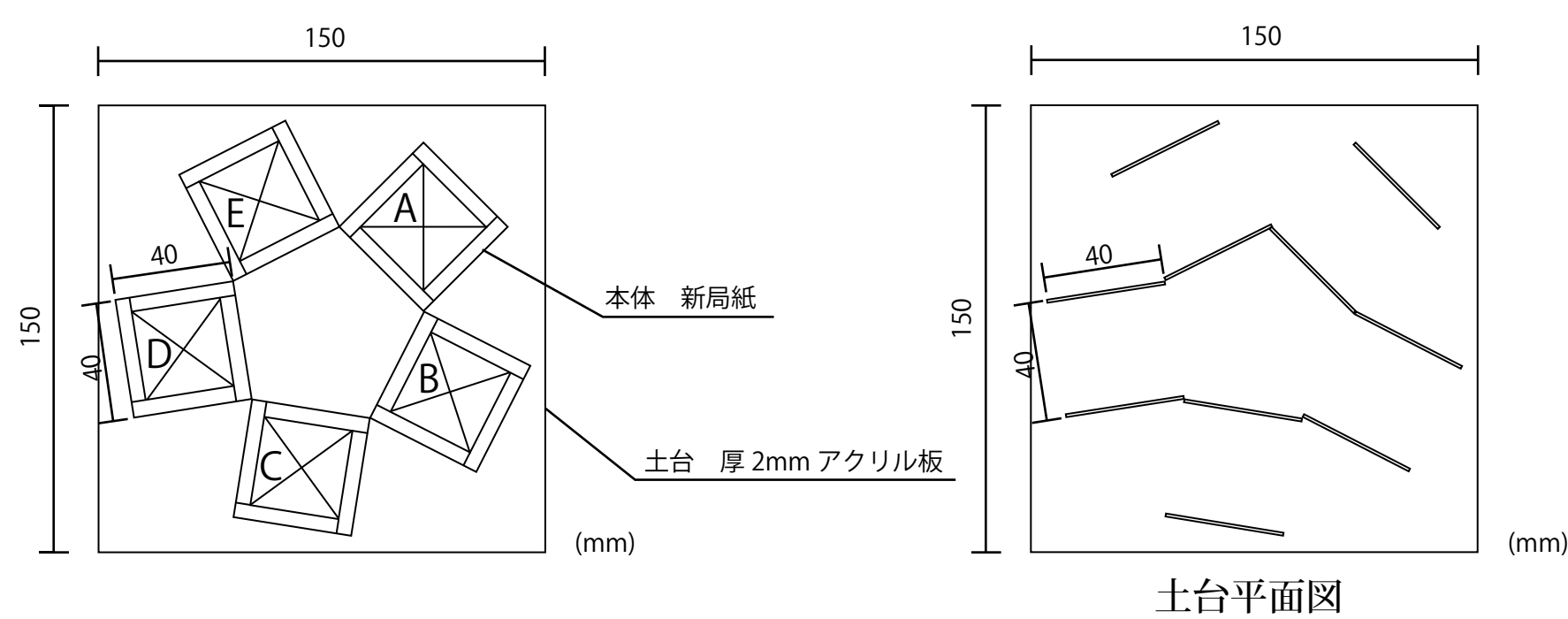
美しい
デザイン



構想より卒業証書の開きを抑えて支えられるほど丈夫で、美しく自由な組み合わせができる、折のデザインからねじり柱を採用することにした。

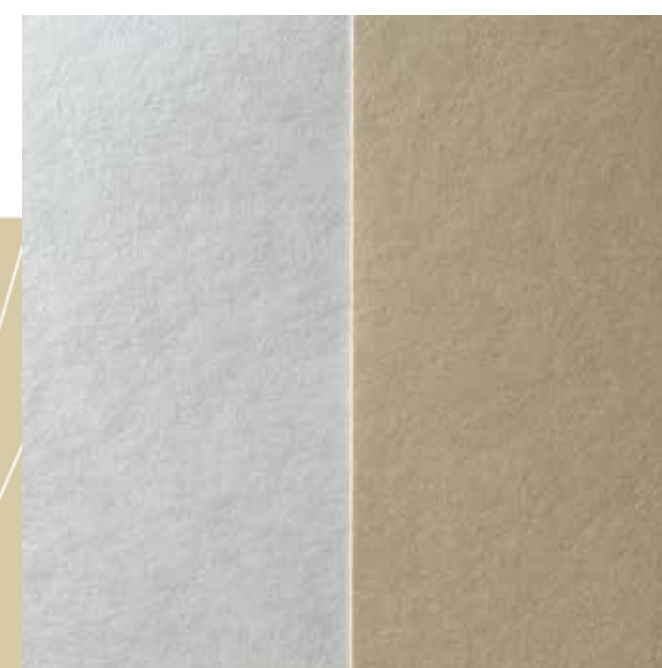


完成図面

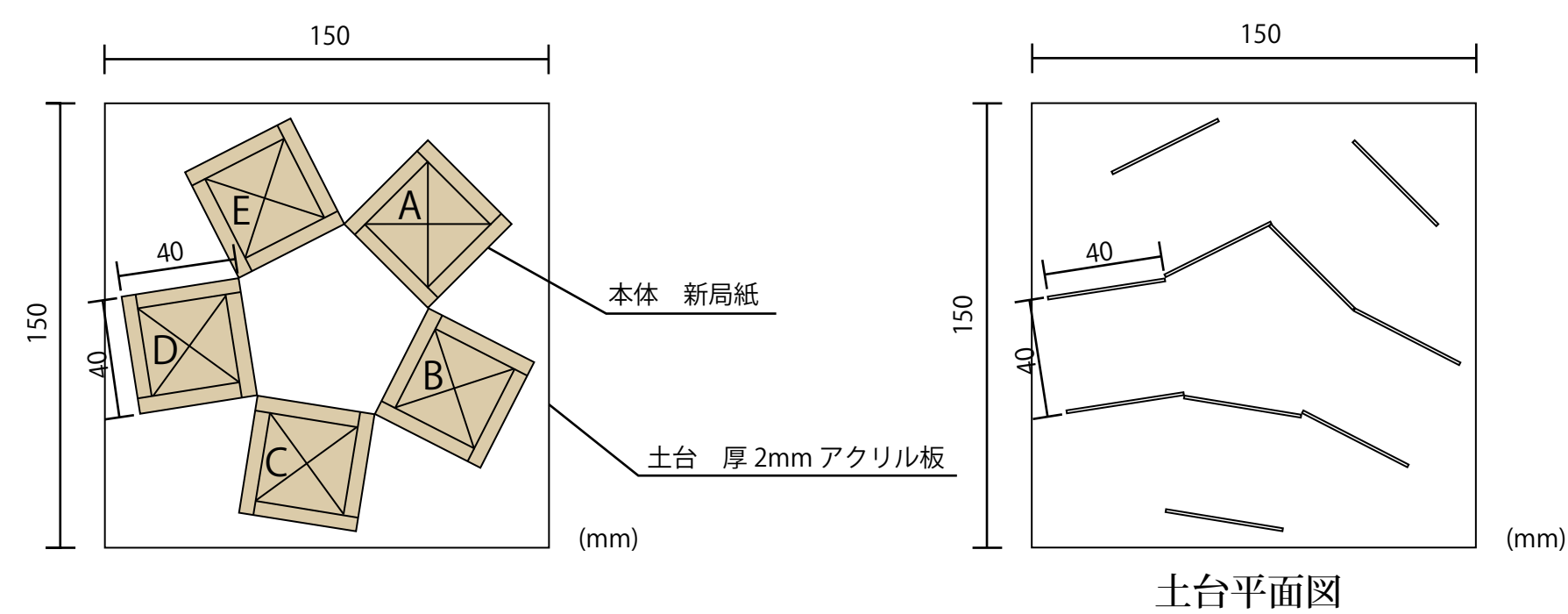


白桜 三面図

材料



卒業証書にも使用されている新局紙を使用。1枚からねじり柱1つを制作。証書の色味は白とアイボリーがあることからそれぞれに合わせて飾れるように新局紙の白と古染の2種類を使う。



黄桜 三面図

